平成30年4月9日

平成30年度第1回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号 平成30年度県指定文化財の指定について</p>	<p>県民にとって意匠的に優秀で歴史的価値の高いもの、学術的価値の高いもの及び地域的特色を示すものなどの文化財を保存し活用するため、鹿児島県指定有形文化財，鹿児島県指定無形民俗文化財，鹿児島県指定史跡及び鹿児島県指定天然記念物に指定しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第2号 平成30年度鹿児島県教科用図書選定審議会委員の任命について</p>	<p>平成30年度鹿児島県教科用図書選定審議会委員を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>

会 議 要 旨

1 開会

2 教育長職務代理者の指名について

教育長から、教育長職務代理者に島津委員を指名したことを報告した。

3 会議の公開等について

議案第2号については、非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

4 平成29年度第12回教育委員会定例会及び第2回臨時会の会議録の承認

承 認

5 教育長報告

報告第1号 鹿児島県学校職員のへき地手当等に関する規則の一部を改正する規則の制定について

(教職員課長) 鹿児島県学校職員のへき地手当等に関する規則の一部を改正する規則の制定について、教育長の臨時代理により制定した旨報告

(教育長) 異議がないようなので、教育長報告第1号は了承をいただいたものとする。

6 議案

議案第1号 平成30年度県指定文化財の指定について

(文化財課長) 県民にとって意匠的に優秀で歴史的価値の高いもの、学術的価値の高いもの及び地域的特色を示すものなどの文化財を保存し活用するため、鹿児島県指定有形文化財、鹿児島県指定無形民俗文化財、鹿児島県指定史跡及び鹿児島県指定天然記念物に指定しようとするものである。

(島津委員) 指定に異論はない。今回8件指定されるということで、よいことであると思う。

3つ質問がある。1つ目は、県指定文化財の指定件数の目標はあるのか。

2つ目は、久保観音堂の木造菩薩立像は3軀のうち1軀だけ指定されるが、他の2軀は時代が違うから指定されないのか。

3つ目は、根占原台場跡は貴重な台場跡であるが、この置かれている大砲は年代が違うのではないかと思う。海外から来たものを模して作られたのではないか。集成館にある蛇砲という大砲を真似てここに置かれていると思う。年代的に違うものが置かれているような気がする。台場自体は貴重なものであるが、それをこのような形で乗せることについて、どのように考えられているのか。

(文化財課長) まず、県指定文化財の指定件数については、県の教育振興基本計画で平成30年度までに300件指定する目標が掲げられており、今回の8件を指定すれば、この300件を達成することになる。

久保観音堂の木造菩薩立像の3軀のうち1軀を指定することについて、今回指定する1軀は平安時代のものであるが、残る2軀は江戸時代のものであり、省略した造形となっている。

根占原台場跡については、確認させていただきたい。

(原之園委員) 根占原台場跡は石積みの部分が50メートルあると聞いたことがある。これが非常に貴重である。大砲と台座は後から置かれたのではないかと思う。

(文化財課長) 台座については、復元されたものではないかと思われる。

(教育長) 異議がないようなので、議案第1号は原案のとおり議決する。

7 その他

(1) 市町村立学校の廃止について

(学校施設課長) 市町村立学校の廃止の理由、加計呂麻島の人口及び学校の状況等について説明

(今村委員) 加計呂麻島の小学生は何人いるのか。

(学校施設課長) 平成29年5月1日現在で小学生が39人、中学生が13人である。

(今村委員) 小学校は現在何校あるのか。

(学校施設課長) 小学校は7校であり、須子茂小学校を含めて2校が休校していた。

(今村委員) 須子茂小学校が閉校すると、小学校は6校になり、そのうちの5校に児童がいることになるのか。

(学校施設課長) そのとおりである。

(今村委員) 中学校は何校あるのか。

(学校施設課長) 中学校は5校であり、2校が休校している。

(今村委員) 休校している2校はすぐに廃止にはならないのか。

(学校施設課長) 今のところ、すぐに廃止するという話はない。

(今村委員) 今回、この中で須子茂小学校だけが廃止されたのは、児童がいなかったからなのか。

(学校施設課長) 須子茂小学校は今後も入学希望者が見込めないため、廃止された。

(今村委員) 他に休校している学校を廃止しないのは、その辺りが確定していないからか。

(学校施設課長) 例えば、平成29年度まで伊子茂中学校が休校していたが、平成30年度から開校した例もある。まだ動く状況もあるので、今のところ、休校の状態となっている。

(今村委員) 須子茂小学校は今後も動く状況がないので、廃止されるのか。

(学校施設課長) そのとおりである。

(島津委員) 児童・生徒のいる小学校は5校で、中学校が3校ということだが、島の形状から見ても、交通の便がよろしくないで、統合もしづらと思う。中学生は3校で13人しかおらず、ある意味集約した方がよいという気もするのだが、その辺はいかがか。

(学校施設課長) 現在の通学手段については確認していないが、加計呂麻島に関しては、統合に関する町の意向は聞いていないところである。

(2) 平成31年度全国高校総体鹿児島県実行委員会第2回総会について

(高校総体推進室長) 平成31年度全国高校総体鹿児島県実行委員会第2回総会の概要、今後の開催予定及び事業計画等について説明

(島津委員) 現在、課題になっていることはないか。特に特化して取り組まなければならないものがあれば、教えていただきたい。

(高校総体推進室長) 開催地、高等学校体育連盟及び県の三者が連携していかなければならないので、連携強化を今後も図っていきたいと考えている。また、総合開会式に向けての準備を加速していきたい。

それから、高校生活動を進めているが、県内の高等学校及び特別支援学校で広報活動をどのように実施していかなければならないか考えていただき、大会の広報を支援していただくよう今後も進めていきたいと考えている。

現在、鹿児島情報高校の正門横に「大会まであと何日」という液晶ボードが設置されている。そのような形で既に広報活動を始めているところである。

(原之園委員) 資料に総合開会式のことを詳しく書かれている。「高校生が積極的に企画・運営に携わる」ことや、「高校生の発想を十分に取り入れる」こと、「南部九州4県の歴史と文化にも配慮しながら」とある。多くの高校生が参加して、自分たちの将来に向けての活力や頑張りにつながるよう、積極的に高校生が活躍する場をつくっていただきたい。

前回、鹿児島で開催された高校総体は「57総体」であった。そのとき生徒の引率で、陸上競技場での開会式に参加して感動したことを覚えている。是非、高校生の参加が多くなるようにしていただきたい。

(高校総体推進室長) 「57総体」以上に感動するような大会にしたい。

(3) 社会教育に係る広報・啓発資料について

(社会教育課長) 社会教育に係る広報・啓発資料の掲載内容及び活用方法等について説明

(島津委員) 良い資料を作っていただいた。せっかく作っていただいたので、活用していただきたい。ホームページに掲載することもよいのだが、関心のない方はなかなか見ない。そのような意味では、より密着した形で伝えていく方がよい。是非、徹底していただきたい。また、鹿児島県では朝ご飯を食べる子供たちが意外と少ないので、朝ご飯を食べて学校に来る子供が増えるようにしていただきたい。

8 議案

議案第2号 平成30年度鹿児島県教科用図書選定審議会委員の任命について
(非公開)

9 閉会